

日本共産党 西宮市会議員団ニュース

(発行)

日本共産党西宮市会議員団 (2011. 8. 28 NO. 570)
西宮市六湛寺町10-3 (市役所内) TEL-0798-35-3368
FAX-22-7815 Eメール・nmc30547@nishi.or.jp
ホームページ http://nishinomiya.jcp-giin.net/

きびしい暑さが続いた今年の夏。3月11日の東日本大震災や福島原発事故の被害が続くなか、日本共産党市議団は、終戦記念宣伝や、原発からの撤退を求める署名や宣伝活動にとりくみました。

「平和」と「脱原発」を市民に訴え!



(甲子園球場前の終戦記念宣伝)



甲子園・ららぽーと前で、「原発撤退署名」を訴える野口あけみ議員

8月は「平和」について多くの方々が何らかの活動に参加されたり、語り合う月です。

長崎で開催された「原水爆禁止世界大会」には、まつお議員が、16日の「平和灯ろう流し」に、杉山・佐藤両

議員が参加。また、西宮市原水協が毎年実施する終戦記念啓発活動には、多くの市民とともに市議団全員が、各ターミナルで市民にアピールしました。

15日の66回目の終戦記念日には、全国高校野球大会で沢山の観戦客が行きかう甲子園球場前で宣伝。平和を訴えるビラを手渡しました。

「私は広島で被爆、原発はなくさないかね」

17日夕方、甲子園・ららぽーと前で行なった「原発撤退署名」には35筆が寄せられました。尼崎の中学生4人が「これは、せなアカンねん」と署名。また、高齢の女性は署名をしながら「私は女学校のとて、広島で被爆しました」「福島事故は本当に怖い。原発はなくさないかね」と訴えられました。

市議団は、毎月11日と17日は、宣伝・署名に取り組んでいます。次はあなたの街で一緒に!



二〇一二年度市予算に向けて検討

7月30日に行なった予算要望懇談会で寄せられたご意見などを元に、8月17・18日の2日間をかけて、

2012年度西宮市予算に反映させようと市議団で検討会をもちました。

特に東日本大震災と原発撤退問題を、市の予算案にどのように反映させるのかを主に議論を深め、約400項目の「要望書」に取りまとめます。原発等にも対応した「地域防災計画」の見直し、地域主権一括法の成立に伴う、福祉などの後退をさせない取り組みなど、新たに設定した要望も多く含まれます。

今年は8月30日(火)に、市長に直接「要望書」を手渡すことになっています。



検討論議を行なう市議団

9月・決算議会が始まります

9月8日からの本会議一般質問には、野口あけみ・佐藤みち子両議員が行います。



請願・陳情の締め切りは、
9月8日(木)午後5時

保育所面積の緩和・改悪させない!

民主党政権の目玉として「地域主権改革一括法」が成立し、福祉や公営住宅などの条例制定・改正などの手続きが順次進められようとしている問題で、兵庫自治労連の皆さんと懇談しました。

特に、新聞でも報道があった、「保育所待機児が多い自治体」として、兵庫県では唯一西宮市が全国三十五都市のひとつになったことについて、子ども一人当たりの面積基準が、

今でも不十分であるのに、さらに狭める危険性があること。十二月か三月議会には条例制定されることから、警戒を強め、反対に、保育所面積は引き上げる運動をと確認してまいりました。



兵庫自治労連の皆さんと懇談する佐藤・上田議員